

面を踏まえ放課後児童クラブの整備計画を見直す必要がある。また、地域の子供たちは地域で育てていく、地域と児童クラブは今後さらに連携を深めていく必要がある。このような視点に立ち、児童クラブは新しい朝日公民館に併設の形で整備していただきたい。

【小松市長】地域の子供たちを地域と学校が一体となって育てていくことに賛成である。朝日小学校でも「はなまる学校」が始まり地域の方々が積極的に関わっていただいていることに感謝している。こうした状況がある中で、学校、公民館、放課後児童クラブが近接していることは大きいメリットである。新しい朝日公民館に併設した形で児童クラブを整備するという議員の考えに共感するものであり、今後この点を含めて協議していきたい。

財政の今後は大丈夫なのか

【吉川】合併して10年が過ぎ平成28年度から地方交付税が削減される。今後の財政の見通しはどうか。文化会館や体育館など多くの公共施設が老朽化している。現有施設をそのまま更新した場合どのくらいの経費がかかるのか。

合併後に武雄市では70億円の基金を積んだと思うが、今後の赤字を基金で埋めた場合に財政はどうなっていくのか。

現在作成中の第3次行政改革プランでは目標額をいくりに設定するのか。

【平川企画財政部長】地方交付税は平成28年度で3億3千万円の減額、5年後の平成33年度からは単年度で7億円が減額される。

現有施設を同規模で更新した場合、40年間で1150億円（事業規模）が必要となる。

今後は支出が収入を上回る見込みで、行政改革を取り組まなければ7年後の平成35年度には70億円の基金が枯渇する可能性がある。

作成中の第3次行政改革プランでは、基金が枯渇しないよう第2次プランの実績14億円を大きく上回る目標額を立てなければならない。

おもな補正予算

広報宣伝活動が強化されます

武雄市産の農産品や物産、観光地、官民一体型教育の取り組みなどをわかりやすく紹介・伝えるために市のホームページが新しくなります。また、武雄の魅力を発信する動画を市民から募るコンテストが引き続き実施され広報宣伝が強化されます。

予算額 [231万円]

B型肝炎ワクチン予防接種が定期化

生後2か月から1歳未満の幼児（平成28年4月1日以降生まれ）を対象とするB型肝炎ワクチンの予防接種が定期接種化されます。B型肝炎の発症と重症化を予防することが目的で、県内の医療機関で個別に接種することになり、対象となる幼児の保護者へは個別に通知されます。予算額 [577万円]

榊、櫛などの苗に補助がでます

山間地の再生を目的に小松市政誕生の時から取り組まれている里山再生事業。この事業効果を少しでも早く出すため、榊（さかき）や櫛（しきみ）などの苗の購入補助が行われます。補助を受けた方には栽培等の講習を受けていただき、生産技術を習得していただきます。商品化までは長い年月が必要となりますが、里山の再生につながる取り組みです。

予算額 [106万円]

児童・生徒の学習意欲向上に

市内の小学校と中学校ではインターネット環境を活用したタブレットによる授業が行われています。こうした先進性を生かし、引きこもり気味の児童・生徒の学習意欲向上に向けた新たな取り組みがスタートします。支援員を配置し所要の経費は国が全額負担。児童・生徒の理解度に応じたきめ細かな学習環境となります。予算額 [292万円]

豪雨災害の復旧が始まります

本年6月の豪雨により武雄市内では農地、農業施設、道路、河川などが被害を受けました。米麦などの生産基盤の復旧や道路河川の復旧は早急に取り組まなければならない最優先事業です。

予算額 [3億8978万円]